

シリーズ 今、気づき、じんけん

共に生きる ④

1人に背負わせず みんなで支える

国は10月から性暴力被害相談の短縮ダイヤル「#8891」を開設し、被害者の支援を強化しています。被害者の現状について、のぞえ総合心療病院副院長の堀川智史さんに聞きました。

無意識のうちに自分を抑え込む

性暴力被害に遭うということは、自分だけの場所を侵されることです。あらがえない場合が多く、自分を抑え込んで行為を受けることが唯一の生き延びる方法になることもあります。不眠やさまざまな依存症などの治療の中で話を何回も聞いていくうちに性暴力が原因だと気付くことも多いです。受けてしまった結果、さまざまな場面で嫌と言えずに我慢したり、頑張り過ぎたりすることが起きます。何かに没頭して記憶にふたをする人も。何事もなく日常を過ごしているように見えても、被害者は無意識に感情をため込んでいるのです。最終的に無理が効かなくなり別の症状として現れることがほとんどです。

表に見えている人は氷山の一角

性暴力の実態は、以前より認知されるようになって



堀川智史さん

病院は女性医師・心理士が参加する性被害者の集団療法を行っている。久留米市性暴力被害者支援カードの作成に協力するなど病院全体で啓発に努める。昭和58(1983)年生まれ

て、関係機関との連携も取れてきています。それでも表に見えているのはほんの一部です。性暴力の加害者は知り合いが9割といわれます。相談したくても、人間関係が壊れることを恐れてできないことが多いんです。やっと相談できたとしても「あなたにも責任がある」、「なぜ逃げなかった」と言われると、自分が悪かったと自分自身を責めてしまいます。誰かとつながり、支援が必要なのにできない状況に追い込まれます。周りに頼ることもできず、受診や相談にまで結びつかない人が数多くいることを理解してください。簡単ではないかもしれませんが、今、苦しんでいる人には、相談窓口・電話を利用したり、治療を受けたりなど誰かとつながってほしいです。

一緒に考えられる社会に

性暴力被害は身近で起きていることをもっと知ってほしいですね。誰にでも起こり得ることです。何が「性暴力」なのかを知ること、正しい知識を持つこと、関心を持つことが大事です。被害を受けた人から相談を受けたら、「あなたは悪くない」と伝えてください。自分は一人ではない、周りに理解してくれる人がいると分かるだけでも安心感が違います。もし自分が被害を受けたとしたらどうしてほしいか、自身に置き換えて一緒に考えてほしいと思います。一人一人が想像力を働かせるだけで、本人だけに背負わせない、周囲や病院など関係機関も含めて協力して支えていく社会に変わっていくと思います。

男女平等政策課

(☎0942・30・9044、FAX 0942・30・9703)



無理をする人が多いので、安心感を持つことも大事なポイントに話をします。



研究会のメンバーは、苗の高さや幹の太さ、葉に傷がないかを見ながら採点します

ミカン苗木の生産日本一 田主丸の若手生産者が互いを評価

10月2日、田主丸のミカン苗木の若手生産者で構成する「福岡苗木研究会」は、23力所の畑を回り、害虫の付き具合や生育状態を採点し合う互評会を開催しました。田主丸町は全国でも有数の植木や苗木の産地。特にかんきつ類の苗木生産は日本一です。ミカンの8割は、田主丸の苗木から育っています。会長の小西博晃さんは「生産者が共に切磋琢磨してこそ、栽培技術を向上できる。これからもミカン苗木のまち田主丸を全国にPRしたい」と話しました。

明星ねぎみそで応援 筑水高校の生徒が商品開発

筑水高校の生徒が「チーム筑水発！明星ねぎみそ」を開発し、10月5日に市長へ報告しました。市特産の明星ねぎと、同高校で作る自家製のみそを使った商品です。シャキシャキとした食感で甘みがあり、白ごはんに良く合います。食品流通科3年の岡本拓斗さんは「調味料の配合にもこだわりました。多くの人に食べて知ってもらうことで、7月豪雨で被害を受けた農家を応援したいです」と語りました。10月7日から道の駅くまてで販売しています。



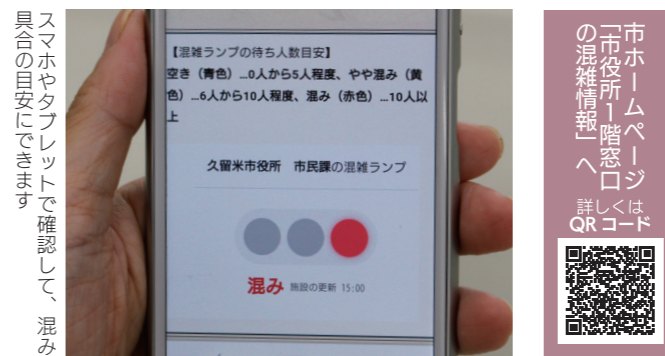
地元産の明星ねぎを使用。免疫活性化効果もあります。

市政の動き

混雑状況が見える

久留米市は10月8日から「混雑ランプ」サービスを、九州で初めて導入しました。市役所窓口の混み具合を市ホームページで確認することができます。導入したのは、本庁舎市民課、健康保険課、医療・年金課です。「空き」「やや混み(黄)」、「混み(赤)」の3色で状況を表します。更新は1時間おきの予定。事前に確認し、密を避けて来庁することができます。

情報政策課 (☎0942・30・9060、FAX 0942・30・9708)



スマホやタブレットで確認して、混み具合の目安にできます

2校最後の運動会

9月26日と27日に下田小学校と浮島小学校最後の運動会が開催されました。2校は来年度、城島小学校と統合予定。多くの地域の方に見守られながら、最後の運動会が行われました。浮島小4年生の鈴木花奈さんは「みんなで練習も頑張ったので楽しい運動会でした。不安もあるけれど、来年新しい友達と運動会ができるのが楽しみです」と話しました。

学校教育課 (☎0942・30・9217、FAX 0942・30・9719)



下田小学校では、児童と地域の人が一緒に競技や演目に参加しました